

ご挨拶

皆さまにおかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

当財団は、皆さまのお陰をもちまして 2025 年度の事業活動を無事に終了いたしましたので、「Dia レポート 2025」をお届けいたします。

2025 年度は、いわゆる「2025 年問題」が現実のものとなり、わが国の全人口の約 4 分の 1 が後期高齢者となる中で、高齢社会のあり方が改めて問われた一年でした。社会全体では生成 AI の活用が定着し、生産性向上への期待が高まる一方、長引く物価高や不透明な国際情勢、相次ぐ自然災害への対応など、変化の激しい時代を象徴する年となりました。



当財団は 1993 年の設立以来、民間研究機関として高齢社会における健康、経済、生きがい等に関する様々な調査・研究に取り組み、結果を広く社会に発信するとともに活動成果の普及に努めてまいりました。2025 年度は、人生 100 年時代が現実のものとなるなか「100 歳までのライフプラン」をテーマにシンポジウムを開催したほか、社会的課題である「仕事と介護の両立」について三菱グループ・リサーチモニター・プロジェクトを継続実施するなど、行政・学会・産業界・民間諸団体並びに高齢者の方々との連携を強め、諸課題の解決に向けて実りある調査研究を実施し、広く社会へのフィードバックに努めております。

本レポートは 2025 年度における当財団の活動実績をできるだけ分かりやすく皆さまにお知らせするものです。

皆さまにおかれましては、引き続き幅広いご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げますとともに、財団の諸活動につきまして、忌憚のないご意見をお寄せいただければ幸いです。

理事長 石塚 博昭